

【講座のねらい】

「観察、実験を伴う実習による実体験」や講義等を通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する授業の在り方について理解を深め、実践的指導力を高めることで、「探究の過程」を踏まえた授業改善を推進する。

【研修後の姿】

科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する授業の在り方について理解を深め、「探究の過程」を踏まえた授業を展開することができる教員



観察、実験や講義を通して「探究の課程」を重視した実践的な指導力を身に付けるとともに、実践交流会を通して研修の成果を高めることができます。

【対象】 理科担当教諭 【定員】 高24名

【研修日程・内容】②0.5h 7/24～

①1h 7/21

遠隔型研修Ⅰ 「説明・協議」

- 課題の明確化
- STEAM教育との関連性

オンデマンド型 研修

「説明・講義」

- 理科教育の現状と課題
- 授業改善と評価の充実
- 実習のポイント

③2日間
(6.5h、6h) 8/31～9/1

集合型研修

「観察、実験等を行う実習」

- 「物理」「化学」「生物」「地学」の観察、実験
※4科目の中から1科目選択
- 実社会での問題発見・解決

9月～1月 職場実践

- 研修の成果を基に自校で行う授業実践

④2h

1/22 遠隔型研修Ⅱ 「実践交流」

- 実践成果発表及び交流

講師 ①②③④北海道立教育研究所職員、③酪農学園大学教官

